

平成30年度 第2回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

平成30年7月14日（土）14時～

森本市民センター 2階 会議室

森本、花園、湖南（地区、校下）

(1) 市長あいさつ

【山野金沢市長】

皆さん、こんにちは。

土曜日、三連休の初日の日中のお時間にかかわらず、たくさんの方にお越しいただきました。心から感謝を申し上げます。

主要施策説明会として5月に皆さんにお集まりいただきました。あのときはご案内のとおり、2月からごみの収集方法が変わったことや、3月議会で今年度の予算が決定をしたことなど、金沢市全体のお話を中心にさせていただいたところであります。

今日は事前に森本、花園、湖南地区の皆さんから問題提起をいただいたものを中心に、まずは地域の課題に特化して意見交換をさせていただきたいと思っています。

そして、その後、時間を設けておりますので、この中にもないものでも結構ですので、いろんなご意見、現場のご意見もお聞かせをいただければと思います。

この場ですぐお答えできることはすぐお答えしますが、もし持って帰らなくてはいけないことだと、前回もありましたけど、やはり現場を一回見せてほしいということもあつたりしますので、少しお時間をいただくこともあるかもしれませんが、ぜひ地域の皆さんのご意見をお聞かせいただければと思っています。

限られた時間ではありますけれども、実りある会議になればと思いますので、どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。

(2) 地域代表あいさつ

【湖南地区町会連合会 会長 小谷氏】

皆さん、こんにちは。

暑い中にお集まりいただき、ありがとうございます。ご紹介いただきました小谷でございます。私は、森本地区町会長全員協議会の会長もさせていただいております。よろしく

お願いいたします。

今日は、3地区の町会長さん初め、多数の方にお集まりいただき、また山野市長初め、各部局の局長、教育委員長など多数のご出席をいただき、このようなまちづくりミーティングを催すことができますことを非常にうれしく思っています。

さて、我々3地区と薬師谷・三谷地区を含めた森本中学校校下の5町連の町会長は、森本地区町会長全員協議会として一団となり、物事に当たっているのは皆様もご存じのとおりだと思います。

特に毎年、市長さんや知事さんにご出席いただき、県や市の幹部の皆様にご回答いただきます要望活動は、このような地域が昭和37年に金沢市に編入されてからすぐ、ずっと続いており、この地域の発展に大きく貢献しているものと自画自賛しているところでございます。

また、今年には市長選挙の年でございます。山野市長さんにおかれましては、第3期の市長に立候補を表明されましたので、我々5町連といたしまして、先日、推薦状を持参したところでございます。

必ずや当選されて市政を担っていただき、我々の要望実現にご尽力されることを強く願っております。皆様方もどうかよろしくご協力のほどお願いいたします。

なお、今日のこの会は、要望ではなく、各地区のテーマを発表し、金沢市よりご返答いただき、また意見を申し上げて話し合うまちづくりミーティングでございます。皆様方、どうか活発に市長さん、局長さん方とミーティングされ、有意義な会になるよう、ご協力をいただくことをお願い申し上げます。私のご挨拶といたします。よろしく申し上げます。

(3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

①歩行者の更なる安全を確保するための方策（森本地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、

レジュメを参考願います。

【森本地区町会連合会】

交通推進隊は森本ですから東警察署の管轄と私は認識しているのですが、市はどのような形でバックアップされているのか。

【松田都市政策局長】

市では、皆さんの活動に対しまして、活動費で交付、それから東の街頭交通推進隊の連合会に対しまして補助金、隊員の被服の装備、運営費等に係る、こういったものを審査していただいているという状況でございます。

②通学路に防犯カメラを設置（花園地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【森本地区町会連合会】

防犯カメラをつけた後の日々の管理とかは、警察ですか、市ですか、町会ですか。

【古危機管理監】

8 ページ目にも少し書いてありますけれども、設置主体はもちろん連合町会、町会となっております。市の方針の上から6行目、「なお、その際の設置主体は町会連合会（町会単位ではなく）」、町会連合会になりますので、その設置計画から設置後の管理、運営は全て地元の町会にということになりますので、その辺が、非常にハードルが高くなってくると思います。

【森本地区町会連合会】

つけるのはいいけれども、後の管理が大変というのが率直なところの意見です。

それと、今のお話と少し違うのですが、例えば、私、防犯で町内を回ったりもするのですが、例えば防犯のチョッキみたいなものを着て、中学校の子供たちが絶えず下校の時に会う。そしたら、私服で「こんばんは」とか「こんにちは」とか言ったら、声かけにとられる可能性もあるし、チョッキを着た状態で「ご苦労さん」とか「さようなら」とか言っていると、運動部の生徒なんかはちゃんと答えをしてくれたりはしますけれども、そうでない子供はやはり無視して行くというのが現状です。

そういうことからいうと、声かけと、防犯のカメラというのとまた意味合いが違うかもしれませんが、どんなふうこれからやっていけばいいのか疑問に思っている。

【古危機管理監】

実は所管の中に、防災は当然あるのですけれども、防犯も取り扱っております。

防犯は、防犯協会というところがございます、そちらでやっている活動に関しましていろいろな補助等々を出しておりますので、その辺も含めまして、一度、うちの危機管理課でご相談していただければと思っております。こういう場合、どうしたらいいのだろうということがございましたら、防犯協会にご相談されるのもよろしいですし、そこよりも市のほうが気楽だなと思えば、ぜひ市の危機管理課までご相談いただければよろしいかと思えます。

私どもも地域の皆様方と一緒に考えていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

【山野金沢市長】

補足させてください。

新堅校下の前の町連会長とお話ししてましたら、いわゆる見守り隊は帽子などあるが、帽子はそんなにお金がかからないので、新堅町校下は見守り隊の帽子を相当たくさんつくっているそうです。

そして、地域の少しお年を召した方などにそれをぜひ、犬の散歩であったり、お買い物であったり、また朝であったりとか昼でも夜でも少し散歩であったり、外出するときにはできる限りその見守り隊の帽子をかぶってほしいと。そうやって今まさにおっしゃっていただいたように、私服で行ったらプライベートなのか、私服で行ったら地域の皆様も知っている人ならいいのですけれども、勘違いされたりすることもあるので、やはり見守り隊の帽子をかぶっていることによって、私は長坂ですけれども、長坂台はもうジョッキングピンクの帽子です。だから、そういう意味ではすごく目立つ帽子です。

森本地区はどんな服装かはよくわかりませんが、そんな形で、ベストであったり、帽子であったり、コストの問題がありますけれども、そこは市も補助対象ではないですか。

【古危機管理監】

たしか防犯協会の補助金があったように思います。

【山野金沢市長】

コストの問題がありますから、防犯協会であったり、行政等であったり、また相談していただければと思いますけれども、そんな形ですることによって、少しでも地域の目が多くなるようにしているという工夫をされているところもあるようですので、また、その地域、地域の考え方とかやり方があると思いますので、ぜひまた具体的にお時間いただければ一緒に相談させていただきながら、よりいい方法を見つけていこうと思います。

【花園地区町会連合会】

花園地区として通学路に防犯カメラをつけてほしいという意味で質問を出している。市の回答というのは、補助金を交付するから自分たちの町会でつけてください、維持管理は自分でしてくださいという回答ですけど、私はその回答は少し不親切だと思う。さきに伊丹市の例を出したというのは、市の議会で条例をつくって1,000台つけたということで、積極的に市がつけるという意識があまりないので、連合町会に任すから、20万円補助するからそちらでつけてというのはどうなのか。

なぜかという、課題として出したのは問題があって、事件があったからです。私が知っているだけで2件か3件。帰るときに、通学路のお寺の後ろ、寂しいところで女の子に声をかけたというのが2件あったのです。実際に見てみると、朝は通行の時は人が来ていて、毎日連れてくるので心配していないんですけど、帰りはバラバラに帰りますので、帰りの時が非常に怖いのです。今言ったように、町会とか連合町会で20万円補助するからつけろと言われても、なかなか難しいということが1点。

それともう1点は、ごみの有料化で不法投棄のところであれば相談できれば市としてつけますという話もいただいていた。私たちも不法投棄じゃないが、有料の袋に入れなくて出すとか、いろいろな町会で対応して鍵をかけようとか、どうしようかと毎日そういう処理をして、私に連絡が来る。町内の人はみんな入れているが、通り道なので、金沢市以外の方が入れていたりという例もあり、証拠もつかんで、利屋町町会でも名前まで特定したとか、警察呼んだりなどしているんですけど、そういうところは防犯カメラが通学路と重なっていますので、それと合わせた形で、花園地区で、花園小学校でこういうことをして事故が減った、というモデルケースをつくって、全部の市ではなかなかできないですけど、実際にやってデータをとるなどはどうか。

プライバシーの問題もあるけど、プライバシーばかり言っていたら何も進まないの、

それは町会なりで皆さんと話はしていきますけど、その辺をもう一步突っ込んだ、市として能動的にこういうことをやるという、意気込みを少し聞かせていただければありがたい。

【山野金沢市長】

全国で3,600、3,700の市町村があります。伊丹は、本当に残念な痛ましい事件等々があったということで、いろいろなことを踏まえた上で伊丹市の中でご判断をされたという、それは市長、議会の皆さんの重たい決断であります。相当大きい予算がかかったと思っています。

ただ、相当大きい予算をかけてでも、ほかの行政サービスを削ってでもやろうという重たい決断をされてされたという、僕はその決断、決定は大変に重たいものだと思っています。ただ、全部調べたわけではありませんけれども、その動きというのが必ずしも広がっていないと思っています。

子供の命、人間の命は大事だと思うのはみんな同じです。みんな同じですけれども、伊丹市議会、僕は大変重たい決断だとは思いますが、やはり現実問題としてコストも相当かかるものでもありますので、そのいろんなことを勘案された上で伊丹市は決断されましたけれども、それほど大きく広がっていないというのは、やはり効果の検証ということとはなかなか難しいというご判断があるのではないかと。特に近隣自治体は、そんなご判断があって近隣自治体にも広がっていないのかと。私はこれ、全部調べていませんけれども、そんなことに想像をされるところであります。

ここはやはり金沢市の場合は、こうやって大きな、皆さんからしたら小さいと言われるかもしれませんが、75%の補助をつけることによって、地域の皆さんと一緒にやっていきたいという思いで、これはそれなりに踏み込んで、この案をつくりました。

前の山出市長がそのご判断をされて、この施策、私は思い切った施策だと思っています。全ての自治体調べたわけではありませんけれども、そんなに多くない自治体の施策の一つではないかなと思っています。

モデル地域になると、事前にシミュレーションをしなければなりません。市もいろいろな施策をモデル的にやっています。近いうちに、コミュニティ・スクールや、いろんな前例や、いろいろな調査をした上で、基本的には進めていこう、ただ、進めていくにおいて、いろんな課題がきっとあるだろうと。その課題を検証していく中で進めていくスピードを

少し丁寧にやっていくのか、もし予算以上の大きな効果が見えてきたのでスピードを早めるだとか、もしくは、いま一度立ちどまって考えていこうだとか、さまざまなシミュレーションを立てた上でモデルという場合、やっていかななくてはいけないのではないかと思います

ただ、花園地区の皆さん、この3地区の皆さんの強い思いも、今こうやって改めて聞かさせていただきましたので、このあり方、施策のあり方にとっての基本的な方向性というものが私はこの方向性でいいと思っていますけれども、金額のことや、地域の皆さんと話し合いをどんなふうにして管理運営をされていくのかということにつきまして、いま一度、庁内の中で検討してから、また皆さんにご報告できればと思っています。

【花園地区町会連合会】

今の子供たちの問題もありますけれども、町民全体としての問題もあります。下校時の子供たちがバラバラで来るのです。1～3年生までと4～6年生というのは時間帯、学校の時限数によって違って来るが、やはりうちの団地というのは旧8号線から山側になりますので、入ってきて角地で、本当に見えないところがいっぱい出てくる。それで、我々もそこのところは心配して、見張りはある程度注意している。

最近というのか、ここ三、四年です。空き巣も結構入っているようになっていて、また、車ナンバーの例えば大阪方面、名古屋方面の車ナンバーがかなり頻繁に入ってきている。工事現場の営業で来ていると思っているが、乗っている人を見ると若い人が乗っている。それで私たちも町内での見守りというのはそういうナンバーの注視をやろうとしている。

今一番防犯で大切なのは、子供も、年寄りも、若い人がいないですから、だから危険というのか。それで、最近はパトカーの入ってくる回数が少ないです。前はパトカーが入ってくるのは嫌な気持ちだったが、今はパトカーが入ってくるだけで安心感があるということがありますので、できれば行政と警察との連携をしていただいて、定期的、毎日のうち、それほどしょっちゅう人間もいないので、警察でも、連携してもらって、できるだけ見守りというか、我々もしないといけませんが、行政側での警察とのパトカーの見回りを定期的にやってもらおう。

一日一回でもいいから、ずっと上がってもらっていただけで結構変わってくると思います。今こういうナンバーがいたとか、昨日はこういうのがいたなどを連絡がとれる体制へ持っていけば、より安心・安全なまちづくりになると、思っていますので、よろしくご配

慮をお願いしたいと思います。

【山野金沢市長】

わかりました。東警察署になるかと思えますけれども。ただ、少し、一日1回でも、2回かもしれませんけれども、どんな時間帯が地域の皆さんにとって一番望ましいと思われるか。そして、また一方では、警察側もいろいろな仕事がありますから、どの時間帯でしたら警察でも行きやすいですよというのがあるかと思えますので、これは改めて町内会長さんにも相談に乗っていただきながら、警察にも責任を持ってつなげて、警察にもまたお願いをしていきたいと思えます。

【花園地区町会連合会】

このテーマを出させていただいた思いですけれども、先般、新潟で痛ましい事故がございました。それを受けて、自分たちの校下を見たときに、児童の一人区間、その見守りが十分にいかない区間がやはりある。特に花園は校区も広く、日吉が丘町会は、多分、片道2キロあると思う。

ほとんどこの間というのは、市街地ではありませんし、非常に店舗数も少ない。道路が一本大きく旧国道8号線が走っているだけ。そんなところを一人で、特に最近の連れ去りとか、ここら辺を聞いておりますと、特に時間帯は下校時、午後3時とか午後6時のこの下校時に非常に多い。要は、見守りの空白時間帯になる。

そして、特にこの地域は、森本全体だと思うが、非常に高齢化にも向かいますし、共稼ぎの世帯も多い。そういうことから、この下校時の見守りというのは非常にできにくいという状況にあります。そして、その一人区間、見守りの空白区間というものもある。

そういうことを含めて、これをカバーするためにはハード、ソフト両方でやらなくてはいけないが、ハード面ではやはりこの防犯カメラというのは非常に有効である。その他見守り隊のいろいろな工夫が必要になってくると思う。

だから、その辺は地域の見守りボランティアのほうで今後一緒になって考えていきたいと思っているが、そのハードの部分、人間がカバーできない部分をどうしたらいいのかというのが今回のテーマを出させていただいた大きな理由です。

先日、石川県の児童クラブの団体連絡協議会に出させていただきまして、その中で一つのこの資料をもらった。登下校防犯プランというのが今、文科省から出されたと、その会

議上で聞きました。

この中でも、特に防犯カメラの設置、その他防犯上に必要な、例えば防犯灯の設置とか、そういうところを今後、政府として考えていきたいということもここに書いてある。今回、たまたま花園地区とのテーマと合致した部分があります。そんなところを今後、国としても支援を実施していきたいとこの文には書いてあるので、今、金沢市の補助事業もお聞きしました。今後、こういうものは多分、市でも把握はされていると思うが、こういった補助事業というのをやはり充実させていただきたいと思う。

子供はこれからの未来に対して本当に大事な、少子・高齢化の中、大事な子供たち、特に花園はそれが顕著でありますので、子供たちの安全確保には最大の努力を払っていききたいと考えております。

確かに経費は本当にかかると思う。この20万円も今の上限では、これは実質、地域でのこの設置というのは難しいと思う。メンテナンス、ランニング経費も含めて非常に難しいと思うが、何とか行政でこういった対応が、これをやると金沢市全部をやらなければならないと多分そうなるのでしょうけれども、特にそういう一人区間、それと見守りの空白区間というところが多いところを対象にぜひ考慮していただければと思います。

【山野金沢市長】

地域の皆さんの切実な思いはよくわかります。よくわかりますし、幾つもお意見もいただきましたので、行政としてできること、行政が市としてできること、そして今おっしゃっていただいたように警察との連携の中でできること。地域の皆さんと連携をしてできること、そしてPTA、保護者の皆さん、学校関係者と連携してできること等々がありますので、それをしっかりと連携をしながら、いま一度お聞きさせていただきまして、また4年後と言わずに、近いうちには一度何らかの形でご返事をさせていただければと思います。

【花園地区町会連合会】

今、花園の連合町会では、先ほど言いましたように、子供を見守ることを今年の重要目標の一つに挙げてあります。

そして、その一環として、実現は難しいというお話だが、防犯カメラ、あとは車に見守り隊のステッカーを張って登校時、下校時に全通学路を回っていかうではないかという話

もしています。

そして、私が住んでいる町では、今は111世帯で花園小学校の学童数は17名しかいない。しかし、17名しかいないのに、在所の人たちは誰もどこの子かもわからない。なかなか難しい状況です。

ですから、今年から町会ではラジオ体操に町会の人たちができるだけ参加して、そして子供たちには名札をつけて町会の人たちに名前を覚えてもらおうという取り組みをしている。花園には児童館と児童クラブという2カ所、子供さんを引き受けてもらえるところがありまして、毎日、盛況です。残念なのは、そこへ花園小学校の先生が来たことを見たことがない。

こうして見ていると、学校が終わると早く敷地から出ていけということで、子供を追い出しているような気がしないでもない。私たちは花園小学校の先生たちと一緒に子供を見守っていきたいと思っている。それは校長先生とたまに話をするにはあるが、学校の実務をやっている先生方と話をしたことがない。ですから、教育長、先生も忙しくて大変ですけれど、ぜひ地域と一緒に、私どもの中でも、学校の先生を応援したいと思っている連中はいっぱいいる。先生たちと一緒に子供を見守っていきたいと思っていますので、ぜひひとつよろしくをお願いします。

【野口教育長】

これまでも大変子供たちのためにご尽力賜っておりまして、深く感謝申し上げます。

見守り隊の話も出ておりましたけれども、花園小学校の校区では37人の方にご登録いただいておりますし、それから今日、森本地区の校下の方もいらっしゃいますが、森本校下の中では964人を、市内で最多のボランティアということで登録いただいております。本当に皆さんのお力添えいただきまして、子供たちの安全・安心にご尽力いただいていることに深く感謝申し上げたいと思います。

今ほど学校の先生方との語らいということでもありますけれども、今お話しいただきましたとおり、しっかりこちらのほうから伝えさせていただきたいと思っておりますし、今、金沢市で、先ほど市長も触れましたけれども、すべての小学校でこういった9月スタートに向けてコミュニティ・スクールというものを導入することになっておりまして、これにつきましては地域の方にも入っていただきまして、学校運営協議会を設置して、その中で学校の困っていることや、地域の方々からいろいろなお声も頂戴して、双方で子供たちを育てる

取り組みをスタートさせてまいりますので、その折にでもまたお話をいただければと思いますし、こちらでもしっかりと話をさせていただきたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

【花園地区町会連合会】

見守りと学校の先生方の関連ですけど、私は少し難しいと思います。11年間、毎朝ずつと行っています。そうすると、校長先生が学校の校門というのか、公民館の前に来られておったのは、人によって全然違う。

先生方でも、何人かは途中まで来られる方もいますが、私はこの後の下校時の問題であると思いますが、これは残業の問題が絡んでいる。勤務時間の関係。今後、かなり大きい問題になると思います。私は労働界にいたからわかる。

そうすると、先生方とコンタクトをとりたいのだけれども、ある意味では、強制力を持ってやるような形になると、地域の中で学校の先生等の齟齬が出てくると思うので、このところはやはり先生方、我々もやっぱり今声を聞いています。なかなか先生方は出てくれないか聞いていますが、あんまりそれは強調できないと。保護者の問題だという感じをしていますので、その辺は慎重に扱っていただきたいと思います。

【野口教育長】

今私がお話をさせていただきましたのは、先生方に下校時に必ず出てくださいと、こんなこと言っているのではなくて、地域の方々の声をしっかりと聞いてくださいということについて、学校と地域の方々とのそういった機会を持つようにということをお話させていただきたいということをお話申し上げたのでありまして、今後ともまた、おっしゃったとおり、やはり子供の安全・安心の基本はやっぱり保護者の方がしっかりとやらなくてはいけないと思っておりますので、それはコミュニティ・スクールの中で保護者の代表の方も入りますので、その中で課題を共有しながらしっかりと取り組みを進めていく、そういうふうを考えておりますので、よろしくお願したいと思います。

③更なる空き家対策の推進（湖南地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、

レジュメを参考願いたします。

【花園地区町会連合会】

日吉が丘ですけれども、うちではもう明らかに古くてどうにもならない空き家が15件以上あります。大変です。そのほかにまた新しくなったのは、4～5件あります。

どなたの持ち物かわかりません。一番問題がこれです。

要は、こういう地域にあって、個人情報だとかなんとかという障壁が住民に多大な影響を与えている。こういう空き家について、町会としては何とかしないとイケない。うちも今子供が、小学生が増えている。子供の遊びというのは空き家がものすごく楽しみです。どこからでも潜れるから。けがしたら大変。そういうのが3件、10年ほど前にあった。

空き家でたむろしているとか、あるいは不良があったのがそこでタバコを吸っているとか。こういうものがあって、町会としては監視下に置かなくてはならないが、これは個人情報だとか、個人の持ち物だとかがあっても大変です。せめて空き家、私どもはこれから行きますけれども、行ったとき、この地番地については、例えば町会長現状保管でもいいです。そういうものの連携をとらせてくれないと対応策がない。我々では、もういつも町会の役員会では頭痛の種です。

そういう意味では、住宅政策課には私もよく行きます。何か利用等ないかと言われて、100万円出すから何とかしてくれと言われても、それは町内で合わせて技術者がいますから何とかなるだろう。でも、維持管理費が、電気料、下水道がただならよいが。だから、その辺が難しいのもありますので、どうしたらいいか。

場合によっては地域、例えば花園で空き家対策に対して行政と強烈な連絡会ぐらいつくって、そして月に一遍ぐらいは現状とどう対応するか位でやっていかないと前へ進まないと思います。

法律がどうのこうのってわかっていますから、法律を執行するかしないかといったときに、また障壁があります。だから、地域住民の皆さんと、これは行政とはどう対応するかということでやっていかないと、いつまでもだらだらと十何年間もたっているが、これは困る。

そういう意味では、空き家対策というのは、もう今地域社会にとって喫緊の課題だと思っていますので、ひとつよろしく対応お願いしたいと思います。

これは連長の皆さん方とまた連携を。我々単位町会というのは、どこを頼りにするかということが大事になってまいりますので、ひとつよろしくお願いしたいと思います。

【中村定住促進部長】

今ほどの空き家の問題ですけれども、地域の非常に重い問題だということは重々わかっておりますし、逆に言えば行政だけでもなかなかできない部分もありますので、そういったことにつきましては地域の方々といろいろ話し合って連携して取り組んでいきたいと思っております。

あと、本当にお困りの空き家の問題につきましては、住宅政策課に先ほど申し上げた窓口がございますので、そこで一元化して情報を扱っております。例えば、樹木が繁茂して困るといった場合に、別の部署だが、全て住宅政策課の窓口を通して対応しておりますので、何なりとまたご相談いただければと思っています。所有者不明のものにつきましても、一所懸命わかる範囲でやっております、なおかつどうしても行政でも調べ切れないものにつきましては、今年度から司法書士とか専門家の方のお知恵もお借りしながら、何とかまずは所有者、責任者を特定しようという努力もしておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

【湖南地区町会連合会】

先ほど発表していただいたのですけれども、結局、町会がそういうことを面倒見なければいけないのか。いつまでも解決できないと苦慮しているのだが、いつまで町会がそういうことを面倒見ないといけないのか。例えば市がそれを代行していただくとか、そういうわけにはいかないものなのでしょうか。

【中村定住促進部長】

先ほどもお話ししましたが、一義的にはやはり所有者、権利者の責任できちんとしてもらおうというのが第一義だと思ひますし、地元で個人情報との関係でそういう所有権がわからないものにつきましては、市であらゆる手だてを尽くしまして、その責任のある方を特定して、その方に対して粘り強く取り組んでいるということでございます。

それと、先ほど話題になった案件につきましては、たまたま不在者財産管理人という制度がございましたので、こういった裁判所の使える制度もいろいろ調査をしまして、できるだけ解決に向けたさまざまな取り組みを一所懸命やっていくところでございます。

【湖南地区町会連合会】

この空き家の所有者はわかっているのです。発表で言った件ではございません。大概、大体所有者は調べていけばわかるのです。しかし、その所有者が丁寧な整備をされない。要は、草とか木が生えっ放し状態で町会として困る。この空き家状態のまま何年置いておいてもいいという期限などはないのでしょうか。法律なり条例なり。全くそういうものはないですか。

【中村定住促進部長】

一つの建物、自分の所有の建物をいつまでその状態にしていけるか、例えば草ぼうぼうでいつまで放っておいたらいいのか、そういった決めはないと思います。逆に言えば、そういうものがひどくなって地域に迷惑がかかる状態になってしまうということになるかと思いますが、そういったものについては、繰り返しになるが、その所有者に対して粘り強く私どもはお話をさせていただいているところです。必ずしも100%それで取り組みが成功しているわけではございませんが、半分以上の案件につきましてはそういった形で改善に向かっている実績がございます。

(4) 共通課題についての討議

地域の防災力向上のための地域コミュニティの活性化

①防災士が活躍できる環境づくり

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【森本地区町会連合会】

今ほどの災害のことですけれども、私どもの町会は以前から、防災無線のスピーカーの設置をお願いしていたということを前町会長からお聞きしている。その防災無線のスピーカーを設置する場合は、東森本地区は市からの無線での防災の案内がなかなか届きにくい。観法寺または吉原の中間地域にありまして、ほとんど聞こえない状態であります。

今年設置するというので、許可はもらったが、その荷重に耐えられないということで設置できないということがあった。市では設置基準というのがあるのか。

町会の設置場所というものを町会で決定しないといけないのか。私の町会では森本しち

ようが丘公園というのがありまして、そういう一面に建てられないのかなど、いろいろ検討して、防災の避難指示をどのようにして町会としては受信できるのか、ということがこの数年間問題になってきておりますので、そういう点をお聞きしたい。

【古危機管理監】

今ほど言われましたように、防災無線、確かに聞こえにくいとか、少し聞こえないとかいうお話も頂戴していたしております。いろいろと防災無線で放送は流しているのですけれども。

今、実は非常に大きい問題になっているのは、新しく建てる家は音が遮られる。いいことなのかわかりませんが、なかなか外の音が入ってこない、窓を閉めたらもう聞こえない、そういう問題もございます。もう一つは、防災無線をつける場所によっては、既存にある防災無線と音が重なってしまってお互いかき消し合い、何を言っているかわからないような状況になる場合もあります。また向きによっては、例えば山手の山に当たって反響してくる音とハウリングを起こすなど、大変難しい状況です。設置してもなかなかそれでおさまるわけじゃなくて、何度も何度も調整しながら、調整しながらやっているのが現状です。設置する場所についても非常に難しい。

ですから、先ほど言われたように、もしいい場所があったら町会長さん、町会の皆さんにもお聞きしたいですし、提供できる場所がございましたら、そういったところも提供していただきたいし、金沢市の中でもやっぱり一緒になって考えていく問題と思っております。ぜひ危機管理課と協議しながら進めていきたいと思っております。ただ、先ほど言いましたように、なかなか難しい問題と思っております。

あと、皆さんにぜひお願いしたいのは、もし防災無線で何かよく聞こえないけど何か鳴った場合、これはまず災害があつてから流すものですから、何かあつたなということを感じていただきたい。

テレビをつけます。大体テレビをつけてもラジオをつけてもそのことについて絶対出てきます。もう一つ、本当は私どももお願いしているのは、防災ドットコムというメールサービスも金沢市はもっとたくさん出したいと思っている。こちらのほうも皆さんに使ってもらえないかと思っているので、そのメールサービスもぜひ皆さんのご理解いただいて入っていただければ非常に助かります。

携帯見てもわからないというお年寄りもたくさんいるかと思えます。そういったお年寄

りにはぜひ声かけてあげてほしい。「おばあちゃん、大雨警報出たよ。危ないよ。こういったメールも入ってきたよ。だから、避難しないといけないよ」というような声かけ、これはもう地域の人でぜひ近所の方々にぜひそういった声かけもしていただければ非常に助かると思っております。皆さん、一緒になって考えていくべき課題であると思っております。ぜひ何かありましたら危機管理課までご相談願えれば助かりますので、よろしく願いいたします。

(5) その他質疑応答

【森本地区町会連合会】

この災害の問題ですけれども、私どもの塚崎町の南端には大きなため池があります。金沢市で一番大きなため池と言われていまして、県内でも2番目に大きいとか言われております。南端にありまして、そこが決壊すると町が全て流されてしまう。私たちの町だけでなく、その下流にあります多くの町会、7町会ぐらいに及びますけれども、大災害になってしまうところがある。

昨年9月に地震に対する地質調査していただきまして、その地震にはもう地質調査については問題なしということで、そういう結果が出ておりますので一安心しているわけですが、やはり洪水に対する不安が依然残っている。今度の広島、岡山のほうでもため池が何カ所か決壊するということがありました。

私どもの町は一番南端で上流にあり、大変不安に思っておりますので、これを今まで私どももいろいろなことになると、生産組合とか、農業基盤としての対策を打たれてきたと思うが、今ほとんど農業用の水を必要としている農家は数軒しかありません。しかし、規模そのものは最盛期と同じような規模を持って、実際は数軒。その下流の何千軒が大変な危険にさらされている。一生産組合とか、一町会とかではなかなか解決できないものがありますので、全て大きな町、また市として、市の都市計画の一環として、防災を通して一度対策を立てていただきたいと思っております。また検討をお願いしたいと思います。

【山野金沢市長】

現場を見てないのですが、今回の西日本の被害におきましても、ため池に大きな課題があったことは間違いありません。恐らくは、今、具体的にお話しいただきました、塚崎町会のみならず、多くの町会にも大きな被害が及ぶであろうということでもありました。

一回、現場もそうですけれども、担当部署、管理しているのは生産組合ですか。市が水域を管理しているのか。

【危機管理監】

管理は地元になります。地元生産組合の管理で、その所管とすれば農林水産ということで、実際の管理は地元でされている。

【山野金沢市長】

ということですね。

金沢市が所管はしていますけれども、地元の生産組合の皆さんと少し意見交換させてください。その次の対応策をどうするかといことを生産組合の方たちと一緒に考えさせていただければと思います。

特に今回の西日本のあの状況を見て、地域の皆さんが不安な思いになるのはよく理解できますので、生産組合の皆さんとしっかり意見交換をして、生産組合の皆さんだけにこの対応をやらせるものでもないと思いますので、市としてどんな形が対応できるかも含めて、生産組合の皆さんと意見交換させていただきます。

(6) 市長まとめ

【山野金沢市長】

貴重なご意見いろいろいただきまして、ありがとうございます。

防犯カメラのことが気になったので、伊丹市の事例だとか、防犯カメラのことを今いろいろスマホで調べたりしていました。

やはり市が率先をして地域に防犯カメラを設置していくということ、これはなかなか難しいなということを、今調べたら、この短い時間ですが、思いました。

ただ、このままでいいとも思っていないので、宿題としていただいたと思っていますので、皆さん方の意見をより反映しやすいような仕組みをもう一度工夫させていただければと思っています。

警察にも責任持って伝えさせていただきたいと思います。また、先ほど地域の皆さんが車で少し回るといお話もありました。青色パトロールというのがありまして、もちろん、誰でも手を挙げたら書いてもらえるものでもありません。一定の要件等々があるかと思

ますけれども、交通推進隊の皆さんがよく青色灯を使って青色パトロールしていただいていますけれども、もしかしたらそういうやり方、青色パトロール、普通の車で回るのもいいかもしれませんけれども、やはり人間の心理として、青でも赤でも何かあってそんな車が回ったら一定の抑止力があることは間違いないと思いますので、その仕組みにつきましても、少し勉強不足ですけれども、皆さんも調べていただきながら、もしくは金沢市に何か教えろということであれば詳しい資料を届けさせてもらって、そんな形での工夫ということもできるのではないかなと思っています。

最後の危機管理監から地域の防災の計画をつくってほしいというお話もありました。今回の防犯カメラのこともありました。また地域でやれと言うのかと思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、いずれも大切なことでありますし、僕らは決して地域の皆さんになんでもかんでもやってくださいと言うつもり全然ありません。用意ドンの段階から、もっと言えば準備の段階からお声がけをいただければ、職員が責任を持って寄らせていただきたいと思えますし。例えばある地域で一定の人数がまとまって用意ドンをするときには、地域みんなのモチベーションを高めるためにも、最初だけでも、もしくはどこかの段階で「市長、来い」ということでしたら、私はそのどこかの段階で寄らせていただいて、ずっと会議に出るのは難しいかもしれませんが寄らせてもらって、市も地域の皆さんと一緒にこれをつくっていきたいということを直接僕からも言わせてもらって、皆さんと一緒にさせていただく、そんな形、そんな空気もつくっていきなと思っていますので、ぜひご協力をいただければと思っています。

本日は、連休の初日、そしてお昼、こんな暑いときにたくさんの方お集まりいただきました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。